

# 令和元年度 学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 東京都立蔵前工業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成：主幹教諭(総務部主任兼務)＝事務局長、工業各科主任 4名 計 5名
- (3) 内部委員の構成：校長、副校長、経営企画室長、教務部主幹教諭、生活指導部主幹教諭、進路指導部主幹教諭、総務部主幹教諭 計 7名
- (4) 協議委員の構成：大学教授 1名、PTA会長、中学校長 1名、町会長、企業代表者 1名、同窓会長、所轄警察署員 1名 計 7名

## 2 令和元年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回：令和元年6月28日（金）内部委員7名、協議委員7名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出  
学校経営報告・計画、昨年度の学校評価について  
本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回：令和元年11月29日（金）内部委員7名、協議委員6名  
授業評価アンケート、学校評価アンケート、教育活動に関する報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、協議
  - 第3回：令和2年2月7日（金）内部委員6名、協議委員6名  
教育活動に関する報告、協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議、次年度に向けた課題の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回：令和元年11月29日（金）内部委員7名、協議委員6名  
地域の方々への評価項目の検討、授業評価、学校評価の方針確認  
今年度の学校評価の実施に向けた検討
  - 第2回：令和2年2月7日（金）内部委員6名、協議委員6名  
今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、分析

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・1月：全校生徒 回収率：99%
  - ・1月：保護者全員 回収率：82%
  - ・1月：教職員 回収率：87%今年度のアンケート内容は、問19にライフワークバランスに関する質問を設置し、地域の方々用に、全日制と定時制に関する項目を設置した。
- (3) 分析方法  
アンケートの集計を「あてはまる…4点」、「だいたいあてはまる…3点」、「あまりあてはまらない…2点」、「あてはまらない…1点」として、平均点を取ることで、傾向を分かりやすくした。  
つまり平均点が4.0に近づけば、評価が高い傾向が分かる。
- (4) 主な評価項目
  - ・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導など
- (5) 評価結果の概要
  - ・生徒集計結果について  
「本校に入学してよかった」については、2年生の評価が低い。その理由を今後検証していく必要がある。  
生徒の満足度が高い項目は、「資格指導」で、低い項目は「学校行事」であった。
  - ・保護者集計結果について  
今回から回答に「分からない」という選択肢を設けた。その「分からない」という回答が

多かったのが、「相談体制」と「ホームルーム活動」であった。保護者に学校の内容が伝わっていない現状が分かった。しかし、「入学させてよかった」は評価が高かったため、保護者は満足している傾向があることも分かった。

・教職員集計結果について

「施設・設備」について老朽化が進んでいる現状とその状況が入試倍率にも影響があるのではないかという意見が見られた。「情報発信」について、ホームページの更新など取り組みが少ないと考えている教職員が多い。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・保護者への学校の情報発信を工夫することで、学校の教育活動を周知する。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・生徒の学校満足度が学年によって異なる。その理由を今後検証していく必要がある。
- ・情報発信を工夫することにより、入学希望生徒も増加させる。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・生徒・保護者に対して、機会あるごとに学校の教育方針を説明し理解を得る。
- ・生活指導については、学校の指導体制と保護者との連携をこれまで以上に強化する。
- ・学力向上の取組や授業力向上等の校内研修会のより一層の充実を図る。

(2) 学習指導

- ・基礎的・基本的な内容の定着に向けて、生徒と教員間で隔たりがあるため、指導力の向上を図る。

(3) 特別活動

- ・学校行事を活性化するために、生徒主体の企画運営を推進する。
- ・部活動を活性化するために、部活動加入率向上への取組みを充実させる。

(4) 生活指導

- ・遅刻指導について、更に組織的・継続的な指導を行い、遅刻者ゼロを目指す。
- ・学校内外のマナー指導を含め、生活指導の徹底を保護者、地域と連携して充実させる。

(5) 進路指導

- ・教職員の進路指導力向上を図り、系統的なキャリア教育を充実する。
- ・進路指導の満足度は、生徒・保護者とも肯定的傾向が高いため、今後も充実に努める。

(6) 健康・安全

- ・「保健だより」を活用した健康指導の推進と、自助・共助の意識を高める安全教育の一層の推進を図る。
- ・震災時の生徒の安全確保について、指導を徹底するとともに、防災意識の向上を図る。

6 協議委員への学校評価結果

(1) 国や都の働き方改革について

知っている	働き方改革の名前は聞いたことがあるが、内容までは分からない	知らない
4	2	0

(2) 協議委員の回答結果

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない
4	1	1	0	0	0